

## ニュージーランド -利上げ一時休止-

### <政策金利を3.50%に据え置き>

9月11日、ニュージーランド準備銀行（以下、RBNZ）は政策金利であるオフィシャル・キャッシュ・レートを3.50%に据え置くことを決定しました。

声明文では「NZドル高や賃金上昇が抑えられていることなどから、インフレは引き続き穏やかである。非貿易財価格の上昇や移民増加による住宅価格の上昇などインフレリスクはあるものの、しばらくはこれまでの金融引き締めや輸出価格の下落の影響を見極める時期とするのが賢明である」としています。

### <ニュージーランドドルは小幅下落>

7月24日にRBNZが利上げの一時休止を示唆して以降、米国の早期利上げ観測もあり、NZドルは対米ドルで緩やかに下落してきました。対円では、円安米ドル高が進んだことからほぼ同水準で推移してきました。

政策金利の据え置きは予想通りでしたが、発表後のNZドルは小幅に下落しています。11日東京市場9時現在、1NZドル=0.82米ドル、1NZドル=87.6円となっています。

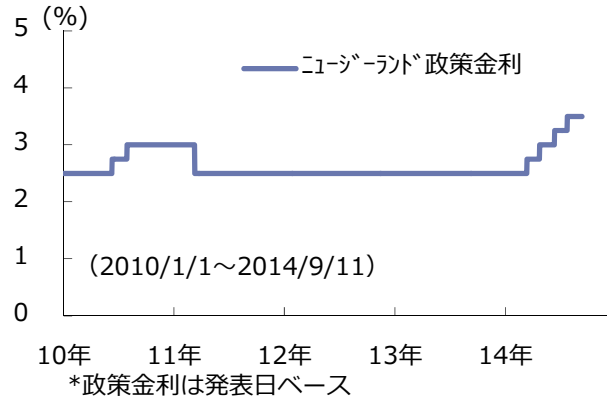
### <今後の見通し>

RBNZはインフレ率を目標中央値の2%近辺に維持することと持続的な経済成長を維持するためには、将来的に利上げが必要であるとしています。しかし、3月以降に実施された合計100bpの利上げの効果もあり、以前の見通しよりも利上げのペースは緩やかになると予想しています。

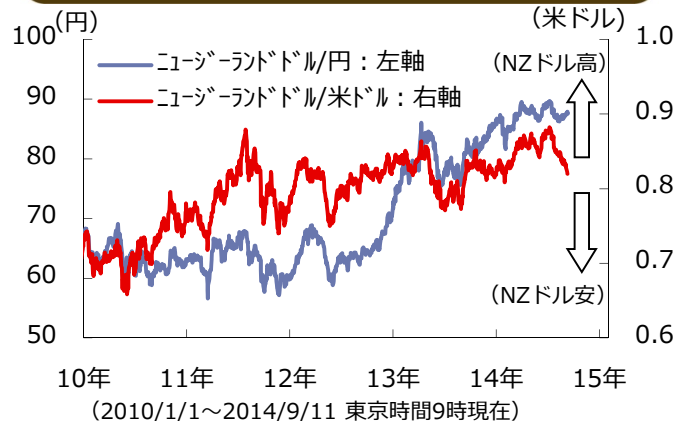
また、RBNZはNZドルの水準について「妥当ではなく、持続不可能」とも指摘しており、今後もNZドル高を牽制する発言がありそうです。

利上げの一時休止により、短期的にNZドルの上値は抑えられそうですが、その後は利上げ再開を見込んで堅調に推移するものと思われます。

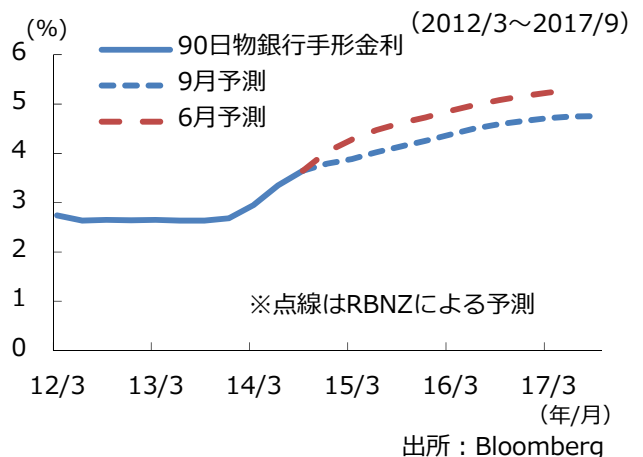
### <政策金利の推移>



### <NZドル為替の推移>



### <90日物銀行手形金利の推移>



■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会